

美術館

vol.141

だより

Houki Museum Information

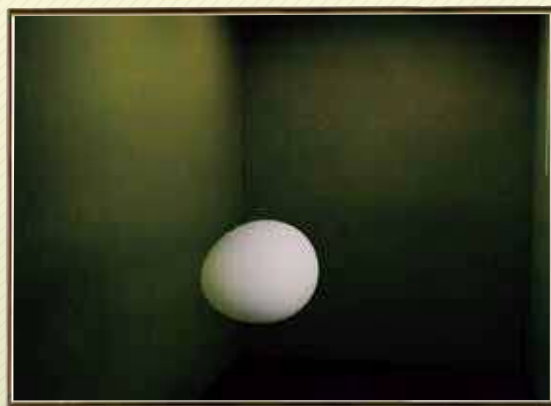
2・3階展示室

空想の羽

植田正治の静物

2020年3月1日(日) — 5月24日(日)

どんな家庭にも、
ちょっとした小物があるはずです。
外の世界で撮ったなにげない光景に
二重にはめこむ作業も面白いし、
空想の羽を一杯にひろげて
いろいろと実験することです。



シリーズ〈幻視遊間〉より 1992年

1989年、植田がいわゆる「静物写真」を熱心に創作していた時期の言葉です。「静物」は、西洋絵画のジャンルのひとつですが、写真においても「静物」といえる作品を多くの写真家が手がけています。絵画においては、もともと対象を緻密に描くところから始まっていますが、写真においては、写真家の個性や力がより試されるジャンルといえます。

植田も写真を始めた戦前から、さまざまな静物写真を試みています。その中でも、晩年、1980年代後半から1990年代に撮影されたシリーズ〈幻視遊間〉(1987—92年)をはじめとする作品群は、植田の「静物写真」の集大成といえます。被写体を自由な発想でとらえつつ、多重露光をはじめ多彩なアレンジを加えて構成したこれらの作品は、まさに植田が「空想の羽」を一杯にひろげ、試行錯誤を重ねた成果といえるでしょう。なにげない身のまわりのモノが、植田にまるで魔法をかけられたかのように、非日常的で非現実的なオブジェへと変化し、不思議な魅力と輝きを放つのです。

今回の展示では、晩年のカラーの「静物写真」を中心に、戦前の作品、1950年代のシリーズ〈かたち〉、その他多彩なモノクロームの「静物写真」も紹介します。植田の自由な空想の羽ばたき、そして実験精神を感じていただけることでしょう。

1階D展示室

植田正治物語 「—写真するボク—」

植田正治の生涯にわたる写真活動の軌跡を紹介

問い合わせ先

伯耆町立植田正治写真美術館

TEL:0859-39-8000

メール ■ bijyutsukan@houki-town.jp

ホームページ ■ <https://www.houki-town.jp/ueda/>

◆ 開館時間 / 9:00~17:00 (最終入館は16:30)

※ 4月1日から 10:00~17:00に変わります。

◆ 休館日 / 火曜日(祝日の場合は翌日) ※ 5月6日は開館

町民無料招待券

(本券を切り取ってご利用ください)

植田正治の静物

SAMPLE

2020年3月1日(日) — 5月24日(日)

※本券1枚ご持参で1世帯様無料にてご覧いただけます。

伯耆町立植田正治写真美術館

伯耆町須村353-3 TEL:0859-39-8000